

---

■ 平成 28 年度 第 1 回「学芸大学駅周辺地区懇談会」 議事概要 ■

日 時：平成 28 年 10 月 6 日（木） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 30 分

場 所：目黒区鷹番住区センター 第 3・4 会議室

出席者：メンバー：10 名

目黒区：都市整備課：立山課長、鎌瀧係長

道路工事課：林係長、伊藤主事、金成主事

コンサルタント：湯浅、小林、河井

---

## 1 概要

### ○懇談

- 1) 交通安全対策の整備工事について
- 2) 「商店街の街づくり」の取り組み状況について
- 3) その他

## 2 意見要旨

### 1) 交通安全対策の整備工事について

#### ○交通安全対策について

- ・はじめに整備した道路が既にもうボコボコになってきているが、どうするのか。道路が陥没しているところはまた整備するのか。
  - ・歩きタバコの道路標識と同様に、壊れてきたら直してもらえるのか。
- 目黒区の道路は約 30 年サイクルで補修している。生活道路は職員が巡回点検をしており、簡易的な補修は行うが、学大商店街のアスファルトは特殊であるため、検討が必要だと思う。穴が開いていれば、安全に通行できる環境にしていかなければならないと考えている。何かあった場合は、土木工事課に連絡をいただければ、対応します。
- 同じ色での対応は難しいことになる。
- ・全体的に色に変色しており、あと何年持つのかと感じている。
  - ・平成 28 年度の整備路線について、唐ヶ崎通りで区切っているため、難しいのかもしれないが、本来は唐ヶ崎通りの南の道路も同じような止まれマークを整備すべきだと思う。少なくとも 3 つの交差点については関連性があるため、同じようなデザインにした方がいいと思う。

### 2) 「商店街の街づくり」の取り組み状況について

#### ○西口商店街について

- ・3 年ぶりに住居不定者が西口に戻ってきており、商店街から苦情が来たため、住居不定者の所有物が置いてある場所は商店街で管理しているため、その場所から出し、

所有物は区に連絡して回収してもらうことを伝えた。理解はしてくれたが、また同じようなことがあれば協力をお願いしたい。

→連絡をいただければ、道路管理課で対応する。

・撤去した所有物は、住居不定者に返すことになるのか。

→個人財産のため、勝手に捨てる訳にはいかない。目黒区の保管場所に持っていき、取りに来てもらう。しかし、住居不定者も置いておく場所がないため、結局はイタチゴッコになってしまう。

### 3) その他

#### ○補助 26 号線について

・補助 26 号線の整備とバス通りは関係ないのか。バス通りは相互通行でありながら、道幅は狭く、曲がりくねっているため、非常に通りにくい。ここを広くすることはできないと思うが、整備されることはないのか。

→バス通りは都道であり、都がグリーンベルト等の整備はしたが、事業所や家屋が張り付いているため、拡張は難しい状況である。補助 26 号線が整備されることで、バス通りが直接目黒通りに出ずに、補助 26 号線にぶつかるように交差点改良が行われる予定であり、それによってバス通りの交通量は減ると考えられる。駒沢通りと目黒通りを結ぶ主路線が補助 26 号線に移ることで、バス通りの交通量は減り、安全になるのではないかと考えられている。

・武蔵小山方面に行く道がとても混んでいるため、解消されるといいと思う。

→粗大ゴミ中継所の土地を利用し、補助 26 号線に出る予定である。現状のまま交差することは無いように考えているようだが、恐らくバス通りを廃止することはできない。

・バス通りが問題であるということは共通認識であり、過去にも様々な議論がされている。今後もバス通りは問題になるため、情報があればタイミングを逃さず話をしてほしい。東京都と警察が絡む話であるため、なるべく早く情報提供してほしい。

→できる限り地元要望は伝えていきたいと思っているが、東京都と警察は柔軟な対応が難しく、実際に整備されてから発生した問題を突きつけないと動いてくれないところもあるため、意見を言うタイミングは図っていく必要がある。今までにも補助 26 号線に対する意見は出ているため、区としてはできる限り地元の意見は、東京都と警察には伝えていきたいと考えている。

・東京都から、青写真のようなものは来ているのか。

→粗大ゴミ中継所の土地で補助 26 号線に出るといった話が来ているのみである。

・地元の意見で、ひっくり返ることもある。六中の時も都から青写真がきたが、地元で協議して変わってきた。

・中央町が分断されてしまうが、それによる不都合をまとめて意見する場所等はある

のか。

- ・町会は関わっていないため、そのような場所はない。
  - ・物理的に間に合わないと困ると思う。中央町の人が意見を言える窓口が無いと危険である。
- “補助 26 号線で分断されてしまうため、信号を付けて行き来できるようにしてほしい”、“唯一お祭りができる児童遊園が補助 26 号線で分断されてしまうため、場所を確保してほしい”等、中央町 1 丁目町会から区に要望がきており、区も東京都と交渉していると聞いている。
- ・必要があるのであれば、意見を言った方がいいと思う。
  - ・補助 26 号線で分断されることで、現在は学大に来ていた人たちが、祐天寺へ行ってしまわないか心配している。
  - ・地域が分断されてしまうことが一番心配である。配慮してほしい。

#### ○喫煙所について

- ・駅脇の喫煙所について、道路にはみ出て吸っている。周辺は文句を言っているが、そのまましておくのか。今後どのようにしていくのか。
- 環境保全課が開いている会議で対応をする旨回答しており、こちらでは詳細は聞いていないが、前回の話では撤去することになっている。
- ・工事はアスベストの問題で遅れているが、3 月末までにはトイレの裏に喫煙所ができると聞いている。但し、密封されている上に狭いので、外で吸う人も出てくるのではないかと心配している。
  - ・トイレ裏に喫煙所ができたと同時に、現在の喫煙所は撤去すると聞いている。
- 工事については、喫煙所の撤去が遅れる可能性もあるかもしれないが、方向性としては撤去することになる。

#### ○学芸大学駅周辺地区懇談会について

- 懇談会の趣旨について再確認してほしいという要望があった。この会は地区整備計画を作成するにあたり、地元の方の意見を反映するため、メンバーを募って進めてきたものである。当初は地区整備計画の策定後に解散する予定だったが、地元からの要望もあり、現在も継続しており、整備計画の進捗状況の報告や区からの情報提供の場としてこの懇談会を使っているが、前回の会議の意見に討議の場にしてほしいという提案もあり、今回、この会の趣旨を再確認し、今後の運営方法を確認させていただきたいと考えている。
- ・準備会として始まったのが 2006 年 9 月 29 日であり、今年で 10 年目、今回がおそらく 40 回目となる。当初は整備計画やバリアフリーについて議論していたが、計画上は平成 28 年度で物理的な整備は完了となる。現在は東西商店街のまちづくりや自転

車問題、看板の問題といったマナー等のソフト的な問題に移ってきており、今後は補助 26 号線やバス通りに関する問題が出てくると思う。今までこの会に出席しているが、継続するか否かについて話題になったことは一度も無く、その認識は間違っていると思う。懇談会の趣旨は変わってきているので、あとどの位話し合いをして終わるのか、また別の形で次に進むのか考えてほしい。個人的には、10 年一区切りとして、一度締めてまた新たに進めた方がいいと思うが、区のほうでどうしたら良いか検討してほしい。やめるということではなく、メンバーは同じで良いと思うので、検討材料を話し合う場になるような名称にする等考えてほしい。私の認識では、整備計画はこれで終わりと思っているが、その先はあるのか。

→交通安全対策は、整備構想の中の 8 つある柱の内の 1 つだった。具体的に進めるにあたり作られたのが、安全対策の事業計画で、それに基づいて進めているがまだ途中段階である。財政面等を加味すると、10 年で全て終わらせることは非常に難しい状況である。平成 32 年度以降も鷹番小学校前の安全性や碑文谷公園周辺の歩道についての安全対策を行っていく計画となっており、皆様にご報告した上で、意見があればその都度吸い上げて警察にも協議しながら進めていこうと考えている。

→交通安全対策以外の整備構想実現に向けた取組も適宜進めており、報告できるタイミングでその都度報告している。

→当初作った整備構想を策定するにあたっては、年に何度も討議したが、その計画策定が終わった後については、年 2 回程度とし、“見守り”組織に変えて進めている。計画づくりの為ではなく、情報提供の場や皆様から意見をいただいて、必要であれば検討する場に変えてきた経緯があるので、区でも継続の方向で考えている。

- ・当初の整備計画位置づけた整備を行うのであれば、何年度までやる予定なのか。10 年もやっていると性格も変わってくるため、そこをもう少し正したい。
- ・本来この会議は、地域住民が中心となって開催しているので、いつまでやるかを区に質問するのはおかしいと思う。まちづくりの会議は、やり始めたら終わりは無い。予算事として年度のいつまでというのであれば分かるが、予算に関係なくある程度のまちづくりは続けていかないといけないと思う。
- ・一度きちんと正さないと、メンバーが変わったりすることで会議の中身が少しずつ変わってきてしまう。この整備という目標が終われば、この会議は終わるといったような性格を決めないといけないと思う。

→今の段階でいつまでとは言えない状況である。当初 10 年で全体整備をする予定が、目黒区の財政難により平成 23 年より事業費が絞られ、先延ばしになっており、今見えているのは、平成 32 年度以降までかかりそうだということである。来年度から 5 ヶ年の実施計画が改定であるため、そこでどのくらい整備できるかを検討していくことになり、それが明確になるのは、来年度末頃になると思う。道路整備の進捗状況を報告しながら意見を聞くことについては、当初の計画が終わるまでこの会は継

続されると思っている。計画が終わる頃、押しちゃりのように取り組むべきことがあれば、続くことかもしれないし、仕切り直しをするかもしれない。今言えるのは、整備計画が終わるまでは進捗状況の報告や区がもっている情報提供を行っていきたいと考えている。この会の趣旨としては、当初作った計画があるのでその進捗状況を確認していただくことが主であり、その他報告事項があれば報告させていただきたいと区は考えている。

- ・この会に出席すると商店街が中心になってしまっているが、それはちょっと違うと思っている。この会の名前にも「学芸大学駅周辺」とあるが、始めてきた人は碑文谷公園まで入るのかと驚くと思う。全部終わったら一旦この会は終わりにして、また立ち上げて同じメンバーで始めれば良いと思う。当初から趣旨が変わってきているので、東西商店街についてやるのであれば、それでやっていけばいい。しかし、この会で商店街以外についても引き続き取り組んでいくということであれば、それも良いと思う。
  - ・当初補助 26 号線の辺りで区切っていたが、それではいけないということで、もっと広いエリアにすることになった。最近は商店街の作業が増えてきているが、当初の範囲を網羅する事業だと思っているので、駅の近くだけでなく、あくまでも周辺ということで理解していると思う。
  - ・最近、中央町の参加が少ないのも、そういう理由からだと思う。もっと配慮が必要だと思う。
  - ・確認の答えとしては、今まで通りということでいいと思う。
- 従来通りで進めさせていただきたいと思う。当初の計画については、途中でやめるつもりは無く、整備を進めるスピードは遅くなってしまうが、駅周辺以外も着実に進めていく予定でいる。
- ・第一回の時は、一般の方も多く参加して進めていた。最近は中央町や碑文谷が参加していないため、そのように感じるのかもしれないが、我々は会議に参加してほしいと思っている。
  - ・私は中央町だが、オリンピックが近づいており、補助 26 号線の整備も進捗しているように感じるので、その辺りを詳しく聞きたいと思って参加している。

### 3 事務局からのお知らせ

- ・次回の開催は来年の 2～3 月頃を予定。決まり次第お知らせする。

以上